

2025年8月30日開催

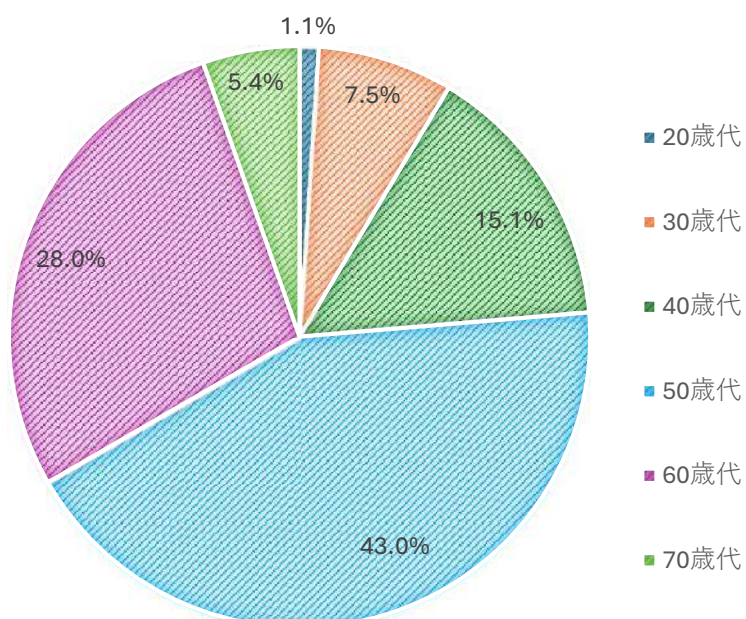
高校生・若年者のキャリア構築のあり方を考えるオンラインセミナー

受講者アンケート集計結果（速報）

1) 年齢

- 受講者の年齢構成は、50代が最も多く43%を占め、次いで60代が28%となっている。

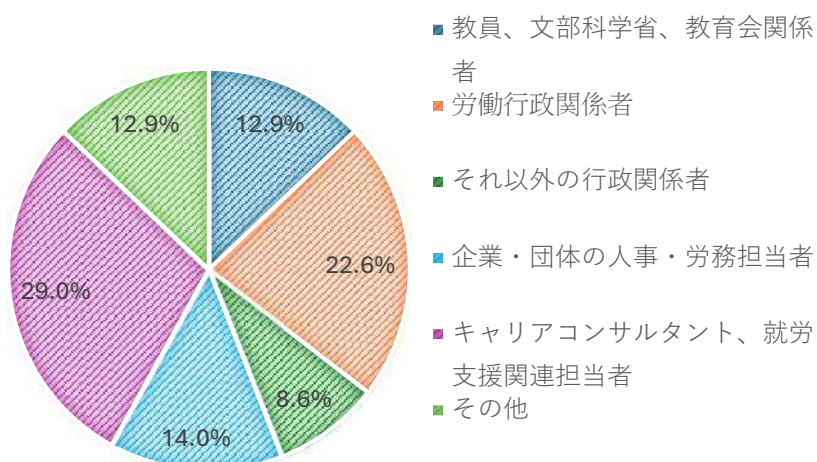
年代	回答者数	%
20歳代	1	1.1%
30歳代	7	7.5%
40歳代	14	15.1%
50歳代	40	43.0%
60歳代	26	28.0%
70歳代	5	5.4%
総計	93	100.0%



2) 所属・立場

- 受講者の立場は「キャリアコンサルタント、就労支援・相談関連担当者」が最も多く、次いで「労働行政関係者」となった。本セミナーのテーマが、実際に職業相談に従事する立場の者に関心を持たれていることがうかがえる。

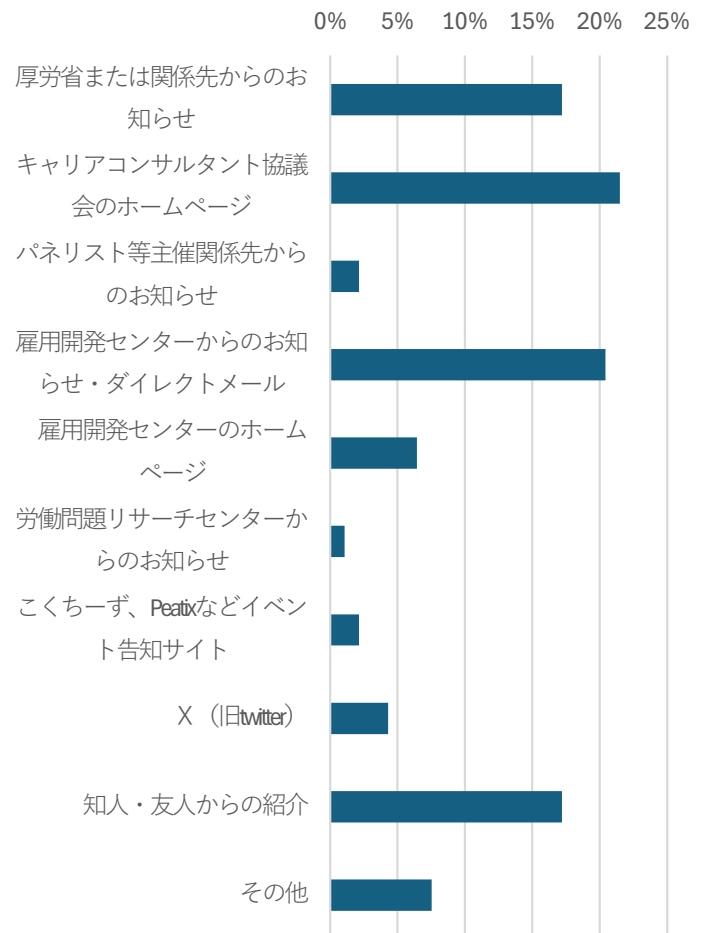
現在のお立場	回答者数	%
教員、文部科学省、教育会関係者	12	12.9%
労働行政関係者	21	22.6%
それ以外の行政関係者	8	8.6%
企業・団体の人事・労務担当者	13	14.0%
キャリアコンサルタント、就労支援関連担当者	27	29.0%
その他	12	12.9%
総計	93	100.0%



3) 受講のきっかけ（一つだけ）

- 受講のきっかけについては、9割以上が何らかのお知らせや紹介によるものであったが、一方で6.5%は一般の告知サイトやSNSを通じたものであった

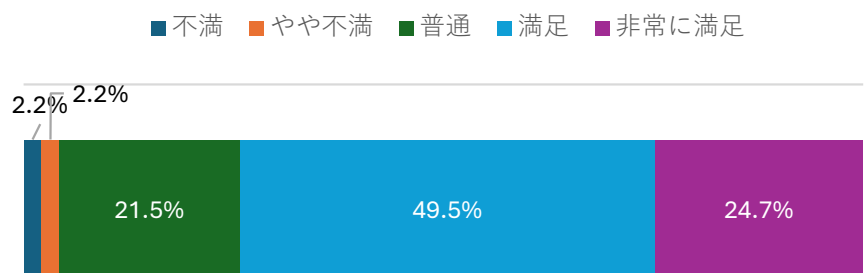
受講のきっかけ	回答者数	%
厚労省または関係先からのお知らせ	16	17.2%
キャリアコンサルタント協議会のホームページ	20	21.5%
パネリスト等主催関係先からのお知らせ	2	2.2%
雇用開発センターからのお知らせ・ダイレクトメール	19	20.4%
雇用開発センターのホームページ	6	6.5%
労働問題リサーチセンターからのお知らせ	1	1.1%
こくちーズ、Peatixなどイベント告知サイト	2	2.2%
X（旧twitter）	4	4.3%
知人・友人からの紹介	16	17.2%
その他	7	7.5%
総計	93	100.0%



4) セミナーの満足度

- 満足度については、「非常に満足」および「満足」との回答が74.2%に上り、他方「不満」および「やや不満」は4.4%にとどまっており、セミナーの満足度は高い水準にあったといえる。

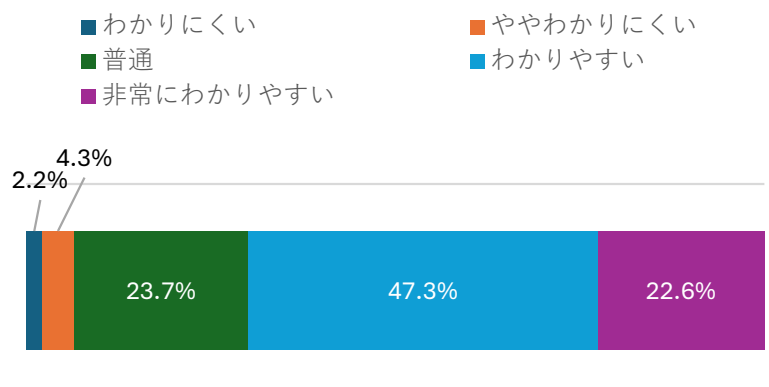
セミナー満足度	回答者数	%
不満	2	2.2%
やや不満	2	2.2%
普通	20	21.5%
満足	46	49.5%
非常に満足	23	24.7%
総計	93	100.0%



5) セミナーのわかりやすさ

- 理解度については、「非常にわかりやすい」および「わかりやすい」との回答が69.9%に上った。他方「わかりにくい」および「ややわかりにくい」は6.5%にとどまった。自由記述では「進行が速すぎる」との意見が寄せられており、今後の課題と考えられる。

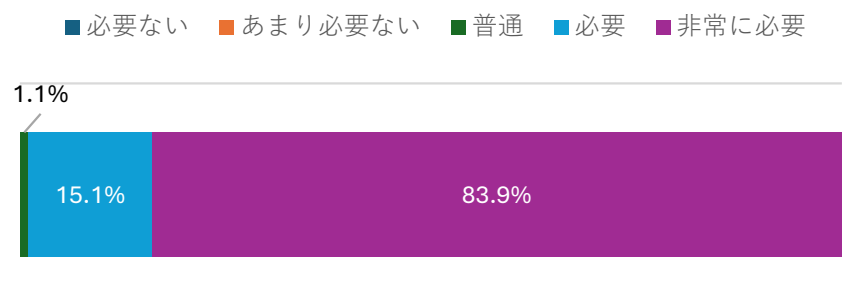
わかりやすさ	回答者数	%
わかりにくい	2	2.2%
ややわかりにくい	4	4.3%
普通	22	23.7%
わかりやすい	44	47.3%
非常にわかりやすい	21	22.6%
総計	93	100.0%



6) 高校生キャリア教育の必要性について

- 必要性については、「必要ない」および「あまり必要ない」との回答はなく、約99%が「必要」または「非常に必要」と回答した。

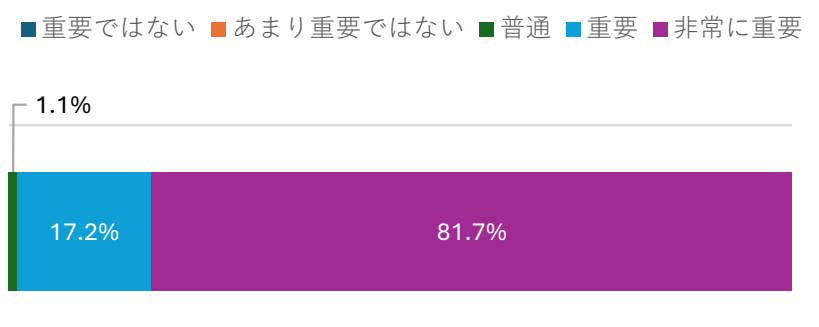
必要性	回答者数	%
必要ない	0	0.0%
あまり必要ない	0	0.0%
普通	1	1.1%
必要	14	15.1%
非常に必要	78	83.9%
総計	93	100.0%



7) 若年者対象キャリアコンサルティングの重要性について

- 若年者を対象としキャリアコンサルティングの重要性についても同様に、「重要でない」および「あまり重要でない」との回答はなく、約99%が「重要」または「非常に重要」と回答した。

重要性	回答者数	%
重要ではない	0	0.0%
あまり重要ではない	0	0.0%
普通	1	1.1%
重要	16	17.2%
非常に重要	76	81.7%
総計	93	100.0%



8) キャリア権についての考え方

- 82.8%の受講者がキャリア権について「大切な政策理念だと思う」と回答しており、多くの受講者にその重要性が認識されていることが示された。他方で「内容がよくわからない」（6.5%）および「大切かがよくわからない」（7.5%）が合わせて14%となっており、内容のさらなる周知・理解促進が課題と考えられる。

考え方	回答者数	%
そもそも「キャリア権」の内容がよくわからない。	6	6.5%
政策理念として、それほど大切ではないと思う。	3	3.2%
政策理念として、大切かどうかがよくわからない。	7	7.5%
大切な政策理念だと思う。	77	82.8%
総計	93	100.0%

